

環境科学研究センターの平成16年度予算

普及啓発の総合的推進と自主的環境保全活動の支援 5百万円

各種環境講座の開催、環境アドバイザーの派遣、意欲ある環境保全グループの育成支援等を行っています。

生物多様性の観点に立った豊かな自然環境の保全利用 5百万円

人的被害や農作物被害を及ぼす等県民生活とのあつれきの大きいサル・クマとの共存方策を検討するための調査、イヌワシ・クマタカ等希少猛禽類や絶滅危惧種のモニタリング、緊急に保護を要する種の保全対策及び県立自然博物館の運営指導等を行っています。

環境分野における科学的調査研究 2百万円

「二ホンツキノワグマの里山地域への出没予測システムの構築」、「地下水汚染における科学的自然減衰(MNA)に関する研究」、「最上川の清流化に関する研究」を行っています。

大気・水質・土壌等生活環境保全のための環境監視 105百万円

県民の安全で安心な生活環境を確保するには、県内の大気、水、土壌等の環境質や動植物等の自然環境の現状及び変化を把握することや廃棄物の適正処理を推進することが重要です。

そのため、当センターでは環境大気の常時監視、公共用水域等の環境中ダイオキシン類の常時監視及び自然環境保全基礎調査など、効果的で効率的なモニタリングに取り組んでいます。

また、工場・事業場の立入検査に伴う排ガスや放流水の分析、廃棄物の抜き取り検査及び最終処分場の放流水検査等を行い、個別の発生源からの排出状況を監視しています。

【環境監視】

《大気・地球環境》

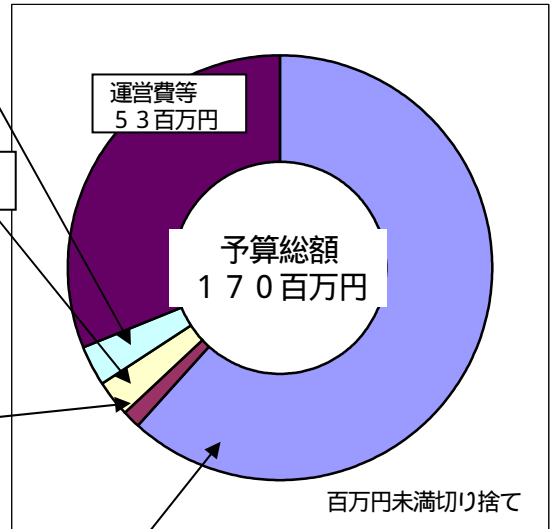
環境大気の常時監視 環境大気有害大気汚染物質モニタリング 工場排ガス等の行政検査 交通騒音監視 酸性雨モニタリング 酸性雨の生態系影響調査

《水・土壌環境・廃棄物》

公共用水域の水質常時監視 地下水の水質常時監視 湖沼調査 工場排水等の行政検査 水質汚濁事故発生時の水質検査 土壌汚染調査 産業廃棄物埋立基準適合検査 最終処分場放流水の行政検査

《化学物質》

環境中ダイオキシン類の常時監視 ダイオキシン類発生源の行政検査 環境ホルモン実態調査 農薬による環境汚染調査



光化学オキシダントについて

山形県では、大気の汚染が著しくなる事態が発生した時の対応を定めた「山形県大気環境汚染緊急対策要綱」により、関係住民への周知や関係事業所への燃料使用量の削減要請などを行います。

中でも、光化学スモッグ発生の指標となる光化学オキシダントについては、近年、大都市周辺で注意報発令件数が増えており、本県でも注意報発令レベルに迫る濃度が観測される時があります。

特に、4月～6月は濃度が高くなる時期であり、当センターではこの期間に監視を強化し、情報収集が迅速・的確に行える体制を整え、注意報発令に備えています。

光化学オキシダントとは・・・

自動車や工場から排出された窒素酸化物や炭化水素類などが、太陽光線中の紫外線を受けて光化学反応を起こして発生する物質。光化学オキシダントは高濃度だと目やのどの粘膜を刺激するなどの健康被害を引き起こします。

県地球温暖化防止活動推進センター設置

貧乏工作 心はお嬢様

4月1日付で「特定非営利活動法人 環境ネットやまがた」が山形県地球温暖化防止活動推進センターに指定されました。この推進センターは、地球温暖化の現状及び温暖化対策の重要性についての情報を提供します 地球温暖化防止活動推進員及び民間の団体の地球温暖化防止活動を支援します 日常生活に関する対策について照会や相談に応じ、必要に応じて助言します 日常生活に関する温室効果ガスの排出実態について調査研究を行います 調査研究の結果を提供し、多くの人の活動を促進します。



マイバッグ展に出展して下さった佐藤亮子さんは、「古い生地が好きです。お金をかけないで、身近にある物で素材の持ち味を活かして作っています。私のキャッチフレーズは「貧乏工作 心はお嬢様」なんです。「これだったら私でもできる」って思ってもらえるように作ります。作っている時は端切れの組合せを楽しんでいます。」と話してくださいました。

【お問い合わせ先】
〒995-0024
村山市楯岡笹田 3-2-1
環境科学研究センター内
TEL.0237 52 3320
FAX.0237 52 3380
E-mail eny@chive.ocn.ne.jp



施設見学に合わせた環境教室承ります

★ただ今「レッドデータブック展～植物編～」開催中！★

【お問い合わせ先】0237 52 3124 環境企画部

センターの施設見学を申し込まれた団体の方々向けに環境学習メニューを準備しています。当センターの研究員が講師を務めます。施設見学に合わせて、ぜひ環境教室をお申し込みください。

【環境教室メニュー】 山形県環境について 川の汚れについて 大気汚染について 酸性雨について ダイオキシソシン類について ゴミのリサイクルについて 地球温暖化について 山形県の希少野生生物について



センターの新しいメンバーを紹介します

当センターでは9名が転出し、10名のメンバーが配属されました。私も新所長として、この新しい体制のセンターで、21世紀環境やまがた創りを目指していきます。(佐藤)

環境問題と向かい合う人々の“環の中心”がセンターであるようガンバリます。(落合)



初めての職場。新たな感覚で多様化する環境の課題に取り組みたい。(東海林)



4年ぶりに戻って施設の立派さに驚いております。施設に劣らぬよう頑張ります。(佐竹)



充実拡充した当センターに8年ぶりに戻り、新たな気持ちで取り組んでいます(五十嵐)



19年ぶりの研究職。初物、初耳、初失敗？(小野)



早く仕事を覚えられるようにがんばります。(森川)



2年間ほど水から離れておりましたので、現在は、頭の切り替え中です。(長澤)



新しい施設で気持ちを新たにがんばります。(辻)



お気軽にセンターをのぞいてください。ご案内・説明します。(岡村)



主に温暖化防止センターの支援を担当します。頑張ります。(阿部)

